

ふりがな 氏名	いわはし れいか	都道府県	和歌山県	
	岩橋 礼佳			
所属/肩書	橋本市立あやの台小学校 / 教諭			
関心・活動のSDGs	  			
私のESD活動	学校教育を通して、これから多様に変化する社会を生きぬける「主体的学習者」の育成			
活動の概要				
<p>私が勤務する橋本市立あやの台小学校では、ESD を意識した教育活動を通して、「主体的学習者の育成」を目指しています。各学年に応じた目標を設定し、ESD カレンダーというカリキュラムを通して系統的かつ教科横断的な指導をしています。</p> <p>昨年度は、4年生を担当し、「思いやり 365 日」をテーマに、「環境」「福祉」「人権」について指導しました。林業体験で自然に触れ合い、社会科のごみ・水の学習で「環境」に目を向けさせ、暮らしが人や自然に支えられていることに気付かせました。車いす、高齢者、聴覚障害者の体験で、「福祉」に目を向けさせ、自分たちが暮らしやすい町について考えさせました。学習発表会で他学年の児童にキャップハンディ体験をさせることで、バリアフリーの考え方を広めることができました。生命の誕生について学び「人権」についても目を向けさせました。育ててくれた家族に感謝を伝える「二分の一成人式」を開くことで、自分たちは周りにいる仲間や家族によって守られていることに気付かせ、感謝の念を持たせました。</p> <p>「環境」「福祉」「人権」の学習を通して、生きるために周りから守られていることについて気付かせ、自分たちが身の周りの人の暮らしを守ったり、手助けをしたりしたいという思いを持たせました。</p> <p>このように、「主体的学習者の育成」を目指し、体験を多く取り入れ、地域の方々の協力を得て、学年の発達段階や学習内容に合わせた活動を行っています。</p>				
私が考える教育の未来像				
<p>変化し続け、先を予測することが難しい社会の中で、子どもたちが身につけておかなければならない力はどんどん増えていきます。さらに、子どもたちを取り巻く家庭を初めとした環境も多様になっていき、ますますひとりひとりのニーズに合わせた教育が難しくなっていると感じます。そのために、子どもたちには自分たちが持っている知識や技能を応用し、考えて自分たちの目の前にある課題を解決する力が必要であると考えます。</p> <p>学習指導要領にも書かれている「生きぬく力」をどの教師も正しく理解し、みんな一つのチームになってよりよい実践をし、自分たちの未来で責任をもって社会参画する大人を育てたい。</p>				
私の強み、活かせる経験やスキル				
<p>和歌山県の田舎町で生まれ育った私は、閉鎖的な社会に危うさを感じ、地域創生について学んで来ました。実際に地域を盛り上げるイベントの運営のお手伝いをする中で、地域を盛り立てるためにどうすれば良いかについて学んで来ました。さらに、学校現場で教育実践を行っている点が一番の私の強みです。</p> <p>勤務初年度から ESD を推進している学校に勤務したことでつながりを意識した授業作りが自分のベースとなっています。また、小学 1 年生を担当し、それぞれ個性を持った児童と共に過ごし教育実践を行っています。教育する相手である子どものことを知り、つながりのある授業作りをベースに、現実的な教育の方法について考えられることが私の強みです。</p>				